

聖ヨセフの取り次ぎを願う祈り

「あがないぬし主ほのごしやゃ者者、
おとめマリアの夫おつとよ。
神かみはあなたに御子おんこをゆだね、
マリアはあなたを信頼しんらいし
キリストはあなたによって養やしなわれ、
大人おとなになりました。

聖ヨセフよ、
父親ちちおやとしての姿すがたを私たちにも示しめし、
日々の歩みを導みちびいてください。
恵めぐみといつくしみと勇氣ゆうきが与えられ、
すべての悪あくから守まもられるよう
お祈りください。アーメン。」

(教皇フランシスコ 2020.12.08)

聖ヨセフ年

2020.12.8 – 2021.12.8



カトリック習志野教会
2021.7 – 2021.12.8

歴史

- ・福者ピオ9世は1870年12月8に聖ヨセフを「普遍教会の保護者」として宣言しました。
- ・尊者ピオ12世は1955年5月1日に「労働者の保護者」として宣言しました。
- ・聖ヨハネ・パウロ2世は1989年8月15日に「救い主の守護者聖ヨセフ」として宣言しました。
- ・教皇フランシスコは、福者ピオ9世が聖ヨセフを「普遍教会の保護者」と宣言してから150年を迎えるに当たる2020年12月8日～2021年12月8日まで「聖ヨセフ年」と宣言されました。**特に、新型コロナウィルス感染症によるパンデミックの間、聖ヨセフに倣い、その取り次ぎを願うよう呼び掛けています。**

使徒的書簡「父の心で」(Patis Corde)

「聖ヨセフ年」の宣言と共に教皇フランシスコは使徒的書簡「父の心で」をも発表されました。冒頭で次のように書きました。

「父の心で――。ヨセフはこのようにイエスを愛しました。そして、聖ヨセフについて7つの特徴を指摘しています。

1. 愛される父

「救いの歴史におけるその役割ゆえ、聖ヨセフは、キリスト者にずっと愛されてきた父です。それは、世界中の数多くの教会が彼にささげられている事実、多くの修道会、信心会、教会グループがその靈性に導かれて、その名を冠している事実、何世紀にもわたり、様々な作品がこの方への崇敬をもって作られてきた事実からも明らかです。」
(9-10 ページ)

2. いくしむ心の父

「イエスは、神のいくしみをヨセフの中に見ました。『父がその子をあわれむように、主は主をおそれる人をあわれんでくださる』(詩編 103.9)。ヨセフはきっとこのような詩編を会堂で唱えて祈り、家では実践していたことでしょう。(12 ページ)

3. 従順な心の父

聖ヨセフは、マリアの理解しがたい懐胎(マタイ 1.18-24)やヘロデの子供たちに対する殺害(マタイ 2.13-18)などの、人生のあらゆる場面で、自分の「はい」(fiat)を声に出せました。受胎告知の際のマリアや、ゲツセマネのイエスと同様です。(14-16 ページ)

4. 受け入れる心の父

聖ヨセフは「すべてのことが知られているわけではないにもかかわらず、マリアの名誉と尊厳と人生のために心を決めるのです」(17 ページ)。イエスはヨセフの姿勢を、放蕩息子とあわれみ深い父のたとえのモデルにしたのではないか、そんな想像をしてみたいのです」(20p.)

5. 創造的な勇気をもつ父

「福音書からは、マリアとヨセフと御子がエジプトに留まっていたころの情報は得られません。ですが、食べていき、住まいを見つけ、仕事をしなければならなかったことは確かです…聖家族は、もうもろの具体的な場面に向かわざるを得ませんでした…この意味で聖ヨセフは、紛争、憎悪、迫害、貧困によって故郷を離れなければならないすべての人にとって、まさに特別な保護聖人だとわたしは思うのです。」(23 ページ)

6. 労働者である父

聖ヨセフは、家族の生活の安定のために真面目に働いた大工でした。イエスは彼から、自分の労働の実りであるパンを食することの価値、尊厳、喜びを学びました。(25 ページ)

7. 影に見る父

「イエスにとってヨセフは、天の御父の地上における影です。イエスを守り、保護し、その歩みを見守るため、イエスのそばを離れることはありません…ヨセフは、生涯を通して、父として振る舞いました。(27 ページ)

聖ヨセフ年に全免償が与えられます。

ゆるしの秘跡、聖体拝領、教皇の意向による祈り(主の祈りや信仰宣言)と共に、聖ヨセフの連願や家庭でロザリオの祈りを行うことなど。詳細は「父の心で」37-42 ページをご覧ください。